経営改善計画

（第４期）

令和２年３月

公益財団法人　千葉市保健医療事業団

目　次

1　経営改善計画について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

ア　策定の趣旨

イ　計画の位置づけ

ウ　計画の期間

2　現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

ア　現状（R2.3.1 現在）

（1）団体概要

（2）組織状況

（3）財務状況

（4）実施事業

（5）評価指標

（6）活動指標

イ　課題

（1）指定管理者更新に向けての対応

（2）外郭団体のあり方に関する指針への対応

（3）公益認定基準の遵守

（4）持続可能な社会の実現に向けた取り組み

3　経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

ア　経営の基本方針

イ　経営の基本目標

4　経営改善に向けた取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

ア　経営の効率化

（1）収支相償への対応

（2）自主財源の確保

（3）補助金の逓減

（4）経費の削減

イ　組織・運営体制

（1）プロパー職員の雇用

（2）個人情報の保護

（3）環境への配慮

ウ　人事・給与制度
（１）人材育成
エ　個別事業の取り組み
（１）休日救急診療所管理運営事業
（２）千葉市総合保健医療センター管理事業
（３）看護師養成事業
（ａ）社会が求める看護師の養成
（ｂ）市内就業率の向上

５　推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
ア　市との連携
イ　情報公開
ウ　外部評価

６　経営改善計画の事項別取組一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

1　経営改善計画の策定について

ア　策定の趣旨

千葉市の外郭団体である当事業団では、平成２４年１１月に千葉市が示した「千葉市外郭団体の組織、運営等のあり方に関する指針」に基づき、平成２７年度から平成３１年度を計画期間とする経営改善計画を平成２７年１２月に策定し、経営改善に取り組んできました。

このたび、令和２年３月末をもって計画期間が終了することから、経営改善に資する取り組みを引き続き着実に実行していくため、新たな経営改善計画を策定するものです。

イ　計画の位置づけ

「千葉市外郭団体の組織、運営等のあり方に関する指針」では、「外郭団体の経営効率化・安定化に向けた取組み」について、経営改善計画に記載するよう指導されています。

これを受け、新たに策定する経営改善計画についても、第３期の計画と同様に、経営方針、経営改善に向けての課題、数値目標及びスケジュール等を盛り込んだ中期的な計画とします。

ウ　計画の期間

令和２年度から令和６年度までの５年間を取組期間とします。

２　現状と課題

ア　現状（R2.3.1現在）

（１）団体概要

設立年月日	平成5年1月20日	出資・出損状況	170,000千円（うち市　120,000千円　70.6%）
設立目的	市民の健康づくりに関する知識の普及に資する事業を行うとともに、救急時等の医療を提供する事業並びに看護師の養成及び資質の向上のための事業を行い、もって地域住民の健康増進と地域医療の発展に寄与することを目的とする。		
所在地	千葉市美浜区幸町１丁目３番９号		
代表者	理事長　入江　康文		
所管課	保健福祉局健康部健康企画課		

（２）組織状況

（単位：人）

	常勤	非常勤	計
役員（監事含む）	１（１）	１２	１３（１）
うち市ＯＢ	１（１）		１（１）
職員	４０		
うちプロパー	３６		
うち市ＯＢ	１		
うち市派遣	３		
計	４１（１）		

※　常勤役員と常勤職員とを兼務している者については、常勤役員数にのみ計上し、その人数（内数）を括弧書で記載している。

職員 平均年齢	49.9歳 (H31.3.31現在)	職員平均 給与(年額)	7,194千円 (H30年度)	役員平均 報酬等額(年額)	5,135千円 (H30年度)

（３）財務状況

（単位：千円）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
総収入(A)	1,089,886	1,086,427	1,117,623
総支出(B)	1,088,257	1,085,193	1,113,593
当期収支(A－B)	1,629	1,234	4,030
総資産(C)	569,273	543,764	570,303
負債(D)	363,260	336,518	360,697
正味財産合計(C－D)	206,013	207,246	209,606
市補助金	254,179	225,950	223,971
市委託料	777,079	779,520	799,961

（４）実施事業

（単位：千円）

主要事業	区分	事業内容	事業費	市支出額	依存率
休日救急診療所管理運営事業	受託・公益	千葉市休日救急診療所の運営及び管理	327,804	317,609	96.9 %
救急医療確保対策事業	受託・公益	休日夜間における二次待機病院等の確保	210,336	210,336	100.0 %
看護師養成事業	自主・公益	千葉市青葉看護専門学校の運営	295,055	200,307	67.9 %
健康づくり推進事業	自主・公益	健康づくりの推進・普及啓発の実施	976	976	100.0 %
訪問歯科診療事業	受託・公益	在宅寝たきり者の訪問歯科診療の実施	9,168	9,168	100.0 %
在宅医療・介護連携支援事業	受託・公益	医療介護資源の把握、介護専門職向けの相談	13,137	13,137	100.0 %
受託施設管理事業	受託・収益	千葉市総合保健医療センターの管理	233,570	249,710	100.0 %

※平成３０年度決算

（５）評価指標

（単位：%）

	評価指標	H28 年度	H29 年度	H30 年度
自立性	補助金依存率	23.3	20.8	20.0
	受託事業収入率	71.3	71.8	71.6
	自主事業比率	26.6	27.1	27.2
効率性	人件費比率	29.7	28.9	29.5
	管理費比率	2.9	1.6	2.1
安全性	自己資本比率	36.2	38.1	36.8
	流動比率	114.3	117.0	116.1
	固定長期適合率	88.7	88.6	87.9

（６）活動指標

（単位：人）

活動指標	H28 年度	H29 年度	H30 年度	備考
休日救急診療所患者総数	20,468	19,822	18,114	H29:275 人/日→H30:248 人/日
心身障害者(児)等歯科患者総数	602	623	623	H29:14.5 人/日→H30:14.5 人/日
訪問歯科予診実施患者数	66	127	107	
看護学校応募者数	201	155	189	定員 80 人（推薦、一般入試合計）

イ　課題

（１）指定管理者更新に向けての対応

休日救急診療所の管理運営について、令和３年度に予定されている指定管理者の更新に適切に対応するとともに、将来も指定管理者として管理運営を継続していけるような取り組みが必要です。

（２）外郭団体のあり方に関する指針への対応

「千葉市外郭団体の組織、運営等のあり方に関する指針」の中で示されている、外郭団体の有すべき特性（自立性、効率性、公共性、規範性・公正性、安定性、補完性、専門性）に照らして、当事業団においても更なる事業の見直しが必要です。

（３）公益認定基準の遵守

公益財団法人として認定を受けた平成 24 年度から平成 29 年度まで公益事業会計において収支相償が遵守されていない状況にあったため、剰余金が累積しており、この剰余金を早期に解消する必要があります。

（４）持続可能な社会の実現に向けた取り組み

地球温暖化など様々な地球環境問題が深刻化していますが、豊かな環境を実現し、次代に引き継いでいくことはとても重要です。

社会的な活動を行っている当法人においても、環境問題の当事者としての自覚を持ち、持続可能な社会の実現にむけた取り組みを持続的に行うことが必要です。

3　経営方針

このような状況の中、当事業団の経営方針は次のとおりとします。

ア　経営の基本方針

市民に休日等の救急時における医療の提供や、その一翼を担う看護師の養成及び資質の向上のための事業を行い、もって地域住民の健康増進と地域医療の発展に積極的に貢献していきます。

イ　経営の基本目標

指定管理事業の継続に向け適切に対応していくと共に、経営改善に向けた各種取り組みや社会的課題に対する取り組みを継続的に行っていきます。

4　経営改善に向けた取組

経営方針の達成のため、各種課題に対し以下の取組を行います。なお、課題については、指針にある有すべき特性（自律性、効率性、公共性、規範性・公正性、安定性、補完性、専門性）から検討を行います。

ア　経営の効率化

（１）収支相償への対応

課題	公益財団法人として認定を受けた平成24年度から29年度まで公益事業会計において収支相償が遵守されていない状況であったため、剰余金が累積しており、この剰余金を早期に解消する必要があります。	
視点	公共性、規範性・公正性、安定性	
取組	①	累積している剰余金は、当法人の看護職員の人件費に充てることとし、段階的に剰余金を費消していきます。
		【数値目標】剰余金 19百万円 ⇒ 0円
目標年度	令和4年度	

（２）自主財源の確保

課題	法人の安定的経営のためには、新たな自主財源を確保する等、財務体質を強化することが必要です。	
視点	自律性、安定性、専門性	
取組	①	自主財源の確保に資する新たな事業について調査・研究を行います。
		【数値目標】―
	②	青葉看護専門学校の学生納付金及び手数料等について、他の看護学校の状況などを勘案し、見直しを行います。
		【数値目標】臨地実習費　0円 ⇒ 700万円
目標年度	令和2年度～令和6年度	

（３）補助金の逓減

課題	外郭団体は自律的な経営を行うことが求められていることから、過度に市からの補助金に依存しない法人運営が必要です。	
視点	自律性、安定性	
取組	①	法人の自立的な運営を図るため、自主財源の確保に努め補助金依存率を逓減します。
		【数値目標】補助金依存率 20.6% ⇒ 依存率の逓減
目標年度	令和２年度	

（４）経費の縮減

課題	経費の縮減を図るため、競争性を確保した調達や契約を行うことが必要です。	
視点	効率性、公共性、規範性・公正性	
取組	①	財務規程を遵守し、競争性を確保した調達や契約を行います。
		【数値目標】―
目標年度	令和２年度	

イ　組織・運営体制

（１）プロパー職員の雇用

課題	事業を円滑に実施していくため、プロパー職員の定年退職による欠員を補充する必要があります。	
視点	安定性、専門性	
取組	①	職員採用計画に基づき、新たなプロパー職員を計画的に雇用します。
		【数値目標】新規採用職員 ２人
目標年度	令和３年度、令和５年度	

（２）個人情報の保護

課題	個人情報を適切に取り扱うためには、個人情報に関する知識や意識の向上が必要です。	
視点	規範性・公正性	
取組	①	個人情報の保護に関する研修を実施するとともに、ＰＤＣＡサイクルの視点から自己評価を実施し知識等の向上を図ります。また、プライバシーマーク等の認証取得についても研究します。
		【数値目標】―
目標年度	令和２年度～令和６年度	

（３）環境への配慮

課題	持続可能な社会の実現に向け、社会活動を行う当法人においても、環境に配慮した取り組みが必要です。	
視点	公共性、規範性・公正性	
取組	①	当法人として、取り組むべき事項を整理するとともに、職員の意識の向上を図るためにＰＤＣＡサイクルの視点から自己評価を実施します。
		【数値目標】―
目標年度	令和３年度	

ウ　人事・給与制度

（１）人材育成

課題		人事制度の充実を図るとともに、当法人の特性を考慮し、計画的に人材育成を行うことが必要です。
視点		規範性・公正性、専門性
取組	①	職員の能力や勤務実績を適正に評価するため、人事考課を一部の職種に導入していますが、これを全ての職種に拡充するとともに、目標申告等を新たに導入します。
		【数値目標】―
	②	計画的な人材育成を図るため、人材育成計画を策定します。また、同計画に基づき、内部研修を実施するとともに、外部機関が実施する専門的な研修へ職員を派遣します。
		【数値目標】―
目標年度		令和３年度～令和６年度

エ　個別事業の取り組み

（１）休日救急診療所管理運営事業

課題		指定管理者の更新に適切に対応するとともに、将来も指定管理者として管理運営を継続していけるような取り組みが必要です。
視点		公共性、安定性、補完性、専門性
取組	①	令和３年度に予定されている指定管理者の更新に向けて適切な対応を図ります。
		【数値目標】―
	②	効率的な診療所の運用を図るため、自動会計等の導入や診療所に勤務する職員（非常勤職員を含む）の役割分担について研究します。
		【数値目標】―
目標年度		令和２年度～令和６年度

（２）千葉市総合保健医療センター管理事業

課題	収益事業として、センターの管理運営事業を受託していますが、適切かつ効率的な管理を持続して行っていく必要があります。また、センターの大規模修繕に適切に対応することが必要です。	
視点	公共性、安定性、補完性、専門性	
取組	①	競争性を確保した外部委託などにより、適切かつ効率的にセンターを管理します。
		【数値目標】―
	②	令和３年度以降に予定されているセンターの大規模修繕に対し、センター管理事業の受託者として適切に対応します。
		【数値目標】―
目標年度	令和２年度～令和６年度	

（３）看護師養成事業

（ａ）社会が求める看護師の養成

課題	看護基礎教育においては、令和４年４月からのカリキュラム改正が提言されています。クライアントの多様性・複雑性に対応できる能力を身に付けた看護師の育成が求められています。	
視点	公共性、補完性、専門性	
取組	①	地域包括ケアシステムにおける看護師の役割の重要性、それに伴う多職種との連携やICT（情報通信技術）導入等について、充実させたカリキュラムの開発を行います。
		【数値目標】―
目標年度	令和４年度	

（ｂ）市内就業率の向上

課題		当市（県）における看護師不足を解消するため、千葉市青葉看護専門学校の卒業生の市内就業の促進が一層求められています。
視点		公共性、補完性、専門性
取組	①	臨地実習等において、両市立病院をはじめとした市内病院との連携を更に強化するとともに、医療機関に限らず看護師を必要とするあらゆる施設への就業を促進します。
		【数値目標】市内就業率 90% ⇒ 95%
目標年度		令和２年度

５　推進体制

ア　市との連携

本計画を着実に実行していくためには、市との連携が不可欠であることから、定期的に市に進捗状況を報告するとともに、必要に応じて市と協議を行うなど、市との連携を密にし、適切に対応していきます。

イ　情報公開

財務状況や経営改善取組の進捗状況等を当法人のＨＰで公表するなど、積極的な情報公開に努めます。

ウ　外部評価

必要に応じて外部の有識者からの評価、助言を得るなど、積極的に経営改善に生かしていきます。

６　経営改善計画の事項別取組一覧

取組事項	現状	目標	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度
ア　経営の効率化							
（１）収支相償への対応（剰余金）	19百万円	０円	削減	⇒	解消		
（２）自主財源の確保（新規事業）	新規事業	実施	検討	⇒	⇒	⇒	実施
（臨地実習費）	０円	７百万円	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
（３）補助金の逓減（依存率）	20.0%	逓減	逓減	⇒	⇒	⇒	⇒
（４）経費の削減	実施	実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
イ　組織・運営体制							
（１）プロパー職員の雇用	未実施	実施	検討	実施	検討	実施	
（２）個人情報の保護　（研修）	実施	実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
（自己評価）	未実施	実施	検討	実施	⇒	⇒	⇒
（外部認証）	未実施	研究	研究	⇒	⇒	⇒	⇒
（３）環境への配慮（取組項目）	未整理	整理	整理	⇒	⇒	⇒	⇒
（自己評価）	未実施	実施	検討	実施	⇒	⇒	⇒
ウ　人事・給与制度							
（１）人材育成							
①人事考課制度（専門職拡充）	未実施	実施	検討	⇒	試行	⇒	実施
（目標申告等導入）	未実施	実施	検討	⇒	試行	実施	⇒
②人材育成計画　（計画策定）	未実施	実施	検討	実施			
（研修）	未実施	実施		検討	実施	⇒	⇒
エ　個別事業の取り組み							
（１）休日救急診療所管理運営事業							
①指定管理者更新	未実施	指定	指定	更新			
②効率的な運用	未実施	研究	研究	⇒	⇒	⇒	⇒
（２）千葉市総合保健医療センター管理事業							
①適切かつ効率的な管理	実施	実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
②大規模修繕への対応	未実施	実施	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
（３）看護師養成事業							
（ａ）社会が求める看護師養成	未実施	実施	計画策定	申請	実施	⇒	⇒
（ｂ）市内就職率の向上	90%	95%	実施	⇒	⇒	⇒	⇒